

1983年6月18日

栗 彦一郎

# 平城宮跡第149次発掘調査現地説明会資料

- 1. 調査地 大和郡山市九条町
- 2. 事業主体 大和郡山市衛生局
- 3. 調査契機 焼却場施設の新営工事に伴う事前調査
- 4. 調査年月日 1983年4月12日開始 現在継続中 面積；3500㎡
- 5. 調査結果

## A. 検出遺構

当該地は、条坊復原の上では、右京八条一坊十一坪と西一坊坊間路の存在が予想される場所にあたります。

調査区の東辺で検出した南北溝SD02、SD03は、西一坊坊間路SF04の両側溝であり、東側溝SD02は、幅0.8m、深さ0.2mで、六坪から流れる東西溝SD01と合流する。西側溝SD03は、幅10~11m、深さ約2mを測り、東市に物資を運搬する東堀河に匹敵する規模の溝であることがわかりました。西側溝SD03は、第3図に示すように大きく4時期の流れが確認できました。このうち奈良時代の堆積は、最下層4だけであり、4層からは奈良時代末葉の遺物が出土することから、当時は、ていねいに溝をさらえが行われていた様子がうかがえます。2~3層は、平城京廃絶後の堆積で、溝をさらえなくなり、次第に幅せまくなって、よどみになる状況が知られます。2~3層からは馬骨が多量に出土しました。また西側溝SD02は、10世紀末~11世紀頃には、西一坊坊間路路面をけずり、その土で埋められた様子も知られます。その後、水田になり、現在にいたっています。

西一坊坊間路SF04は、両側溝心間距離で8丈(約24m)、深さ約2mで、他の坊間路、条間路に比べ大規模で大路並の規模であったことがうかがえます。なお十一坪の大半は、15世紀頃に行われた大規模な土取りのために、奈良時代の遺構は大半破壊を被り、わずかに掘立柱建物の一部(3棟分)、塀1条、井戸1基を検出したにとどまりました。

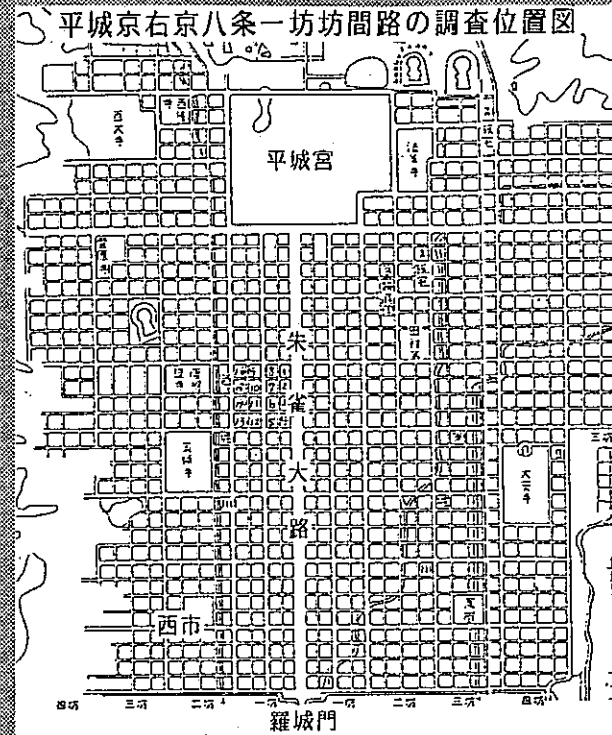
## B. 出土遺物(西側溝SD03から出土した遺物の性格)

西側溝SD03から出土した遺物の大半は、当時の廃棄物である土器と瓦ですが、その他に祭儀に使用したと考えられる遺物-小型銅鏡、金銅製・銅製鈴、火打鎌、ガラス小玉、人形、馬形、斎串、墨書人面土器、ミニチュア竈セット、土馬等-もかなりの量が出土しています。また、砥石、ふいご羽口、柑、炉壁、火をうけた石、鍬滓、鍔バリの付いたままの帯金具、鉾、銅板の切り屑など、近くに鍛造工房があったことを示す遺物も出土しています。

瓦は、溝全体から出土していますが、完形に近い瓦類は、西側溝の西岸近辺に集中しています。これは、今回の調査では後世の削平のために検出はできませんでしたが、西岸にそって十一坪を限る築地が存在したことを示すものです。出土した軒瓦の大半は、平城宮と同範の瓦ですが、京内に特有な軒瓦もかなりの量が出土しています。また長岡宮に使用された瓦と同範の軒瓦も出土しており注目されます。

### 6. まとめ

西一坊坊間路は、これまで遺存地割のうえから大路並みの規模と考えられていましたが、今回の調査でこのことをはじめて実証することができました。また西側溝は、東堀河に匹敵する大規模なものであることが確認されたことも大きな成果です。西一坊坊間路は、平城宮南面西門(若犬養門)に連なり、朱雀大路が儀式的の場として使われるのに対し西一坊坊間路は、平城宮への物資の運搬という実用的な機能を持っていたと考えられます。西側溝はその規模からして、運河として機能していた蓋然性が極めて高いと言えます。



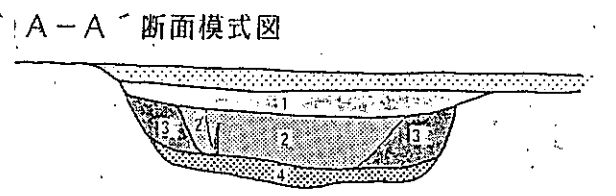
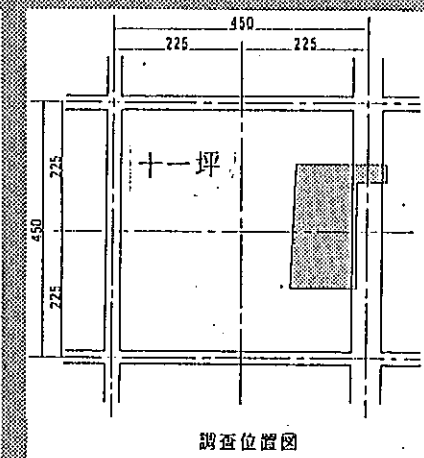
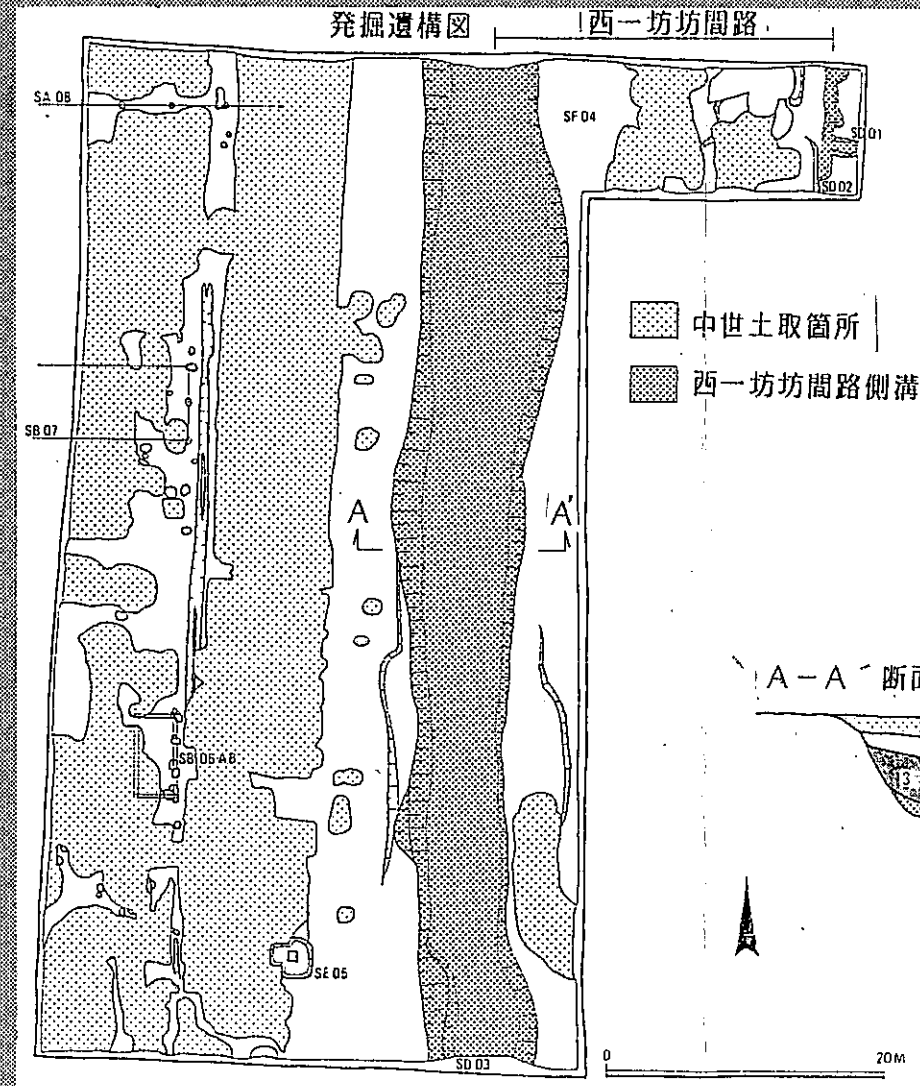
	東側溝幅員	西側溝幅員	溝心々間路面幅	確認地点
朱雀大路	4.5	7.5	74.0	五~六条間
西一坊大路	3.8~5.6	1.5~2.0	24.0	二条
西三坊大路	1.2	1.7	23.24	四条
東一坊大路	1.8	6.9	24.0	二条
東二坊々間路	—	* 2.5	* 9.8	二条~三条間
東四坊々間路	1.5~1.7	1.6	9.0	四条
東五坊々間路	1.6~2.0	1.9~2.8	8.0	五条

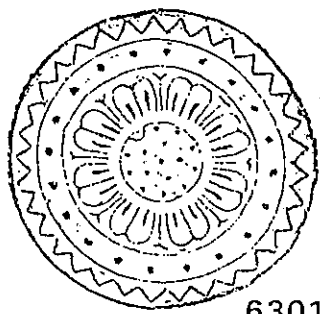
\* は推定値

証書式に規定された道路幅員

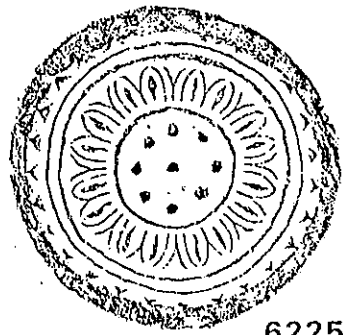
道路名	側溝幅員	道路幅員*
朱雀大路	5尺 ( 1.5m )	20丈 ( 84m )
宮城南大路	8尺 ( 2.4m )	17丈 ( 51m )
	4尺 ( 1.2m )	12丈 ( 36m )
宮城東西大路	—	12丈 ( 36m )
大路	4尺 ( 1.2m )	10丈 ( 30m )
大路	4尺 ( 1.2m )	8丈 ( 24m )
小路	3尺 ( 0.9m )	4丈 ( 12m )

\*築地心々間距離

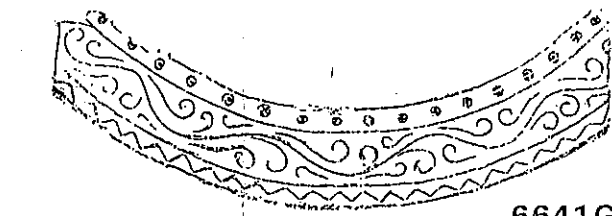




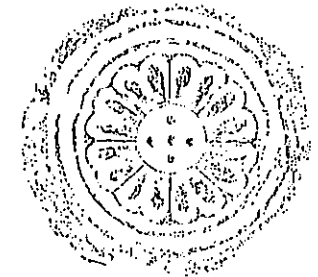
6301C(3)



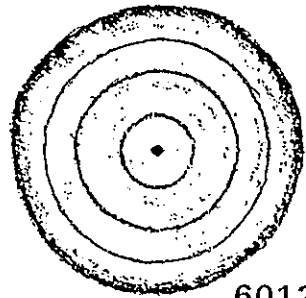
6225A(2)



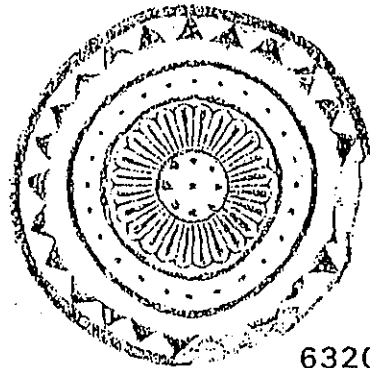
6641G(1)



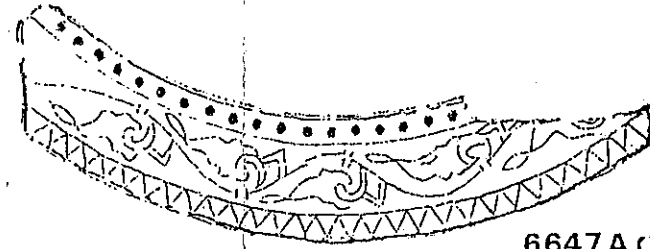
(3)



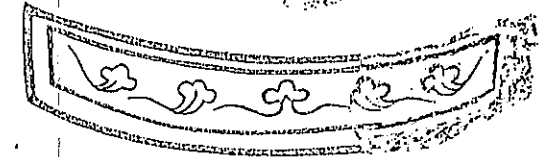
6012A(1)



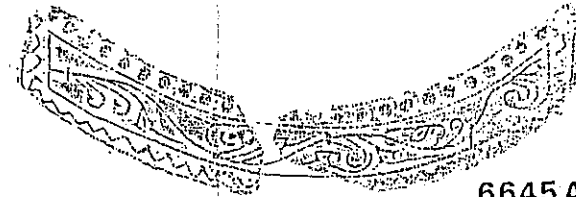
6320Ab(1)



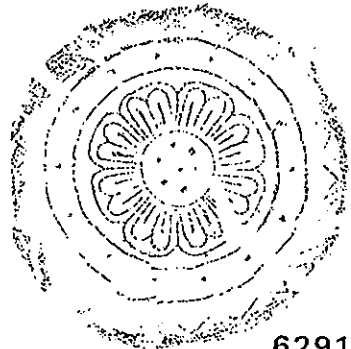
6647A(2)



6802A(2)



6645A(1)



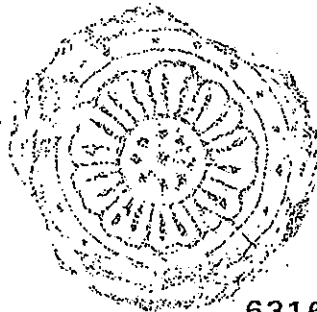
6291C(1)



6316G(2)



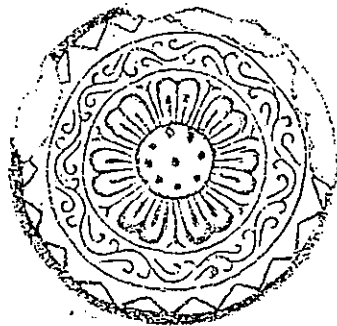
6663F(1)



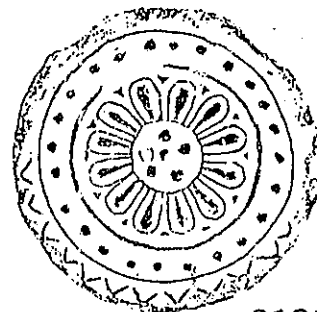
6316K(2)



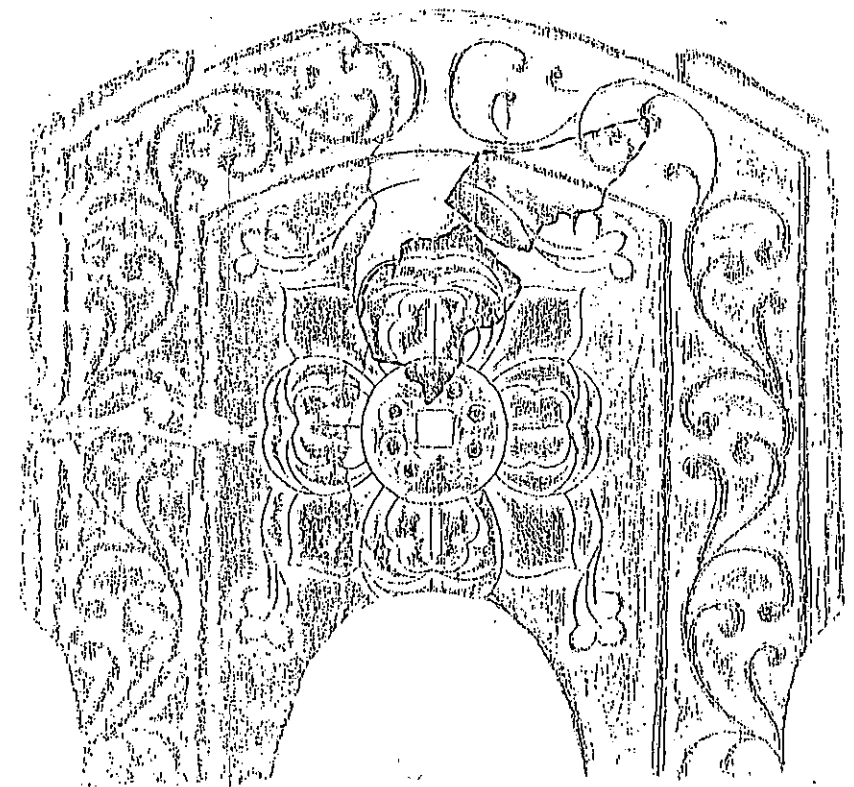
6694A(6)



6348A(1)



6138B(2)



破線内は今回出土

(奈良市発掘 平城京左京八条二坊四坪 出土資料により復原)